

野辺西高サッカー、空手道部 インターハイ壮行式

「V目指す」「練習の成果発揮」

サッカー部



初のインターハイに向け壮行式に臨む野辺地西サッカー部の選手たち

野辺地

野辺地西高校（橋場保人校長）で14日、今夏の全国高校総体（インターハイ）に出場するサッカー部と空手道部の壮行式が開かれ、激励を受けた選手たちが健闘を誓った。

県高総体では、サッカー部が決勝で青森山田をPK戦の末に破り、インターハイ初出場を決めた。空手道部は女子団体組手を10大会ぶりに制するなど、5人が全国に挑む。両部の選手たちは、全校生徒や教職員の拍手を受け体育

館に入場した。生徒会副会長の川村翔さんの激励に続き、サッカー部の藤田律主将は「初の全国の舞台。青森県代表として部員86人、チーム一丸となって優勝を目指す」と抱負。式後の取材には「学校だけでなく、野辺地町の方たちの応援も背負っている。責任と覚悟を持って戦う」と表情を引き締めた。

空手道部も全国に向け闘志全開。男子個人形に出場する新山蒼志郎主将は「インターハイ出場を夢に3年間頑張ってきた。練習の成果をいかなく発揮する」。女子の団体と個人組手に挑む蛸沢萌那瑚さんは「県代表として恥ずかしくない戦いをしたい」と力を込めた。

インターハイは23日から全国地方を中心に開催。サッカー男子は福島県で行われ、野辺地西は27日に丸岡（福井）―大津（熊本）の勝者との初戦に臨む。空手道は8月7、10日に岡山県倉敷市で行われる。（本田海輝）